

当サーキットにおけるペナルティーガイドライン

当サーキットにおける全てのレースに適用される、ペナルティーに関するガイダンスです。

警告(白黒の旗)

走行中ピットからサインボードに車番と白黒の旗によって出されます。
2回警告で1ペナルティとなります。

ペナルティ(黒の旗)

走行中ピットからサインボードに車番と黒の旗によって出されます。
その際基本的にピットインの必要はなく、レースを続行して構いません。また、レース走行後のオフィシャル判断により警告・ペナルティが加えられる場合もあり、その場合はスタッフによりご本人に報告します。
これら警告の判断は各コースオフィシャル及び競技委員長によって行われ、いかなる抗議も受け付けられません。

適用期間

この警告とペナルティは1レースごとになります。(シリーズ累積ではありません。)
NEOスプリント・NEO耐久・フレッシュマン・フレッシュマン耐久レースそれぞれ別に計算されます。
また、各レースにおいて練習走行・予選・TT予選・決勝全ての走行において適用されます。

課せられるペナルティーの内容

- ・内容は各レース規則書に記載。

警告の例

- ・過度のブロック
- ・パイロンタッチ・
- ・ピット内タイヤロック
- ・S字区間追越禁止の無視。区間内でポジションを戻した場合はセーフ。
- ・ピットウォール以降(ウォールエンド～1コーナー間)のホワイトラインカットタイヤで踏むこと。
- ・走行中(すべての)における別紙に明記される行為。故意によるか抛らないかに関わらず。
- ・コースのショートカット行為
(危険回避の為にショートカットした場合は、安全確認の上、コース復帰して下さい。)
※コース復帰時に、他車に接触したり、他車の進路を妨害した場合は、警告を出す対象となります。

ペナルティの例

- ・ローリング中のフライング
- ・後方からの過度のプッシング(順位が入れ替わらない場合でも)
- ・競技長が危険行為と判断した場合
- ・その他、スポーツマンシップに反するとオフィシャルが判断した場合。
- ・オフィシャルの指示を無視すること。

※競技参加者は、スポーツマンらしくからぬ行為、不謹慎な言葉遣い、競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格または除外となります。

追い越しについてのガイドライン

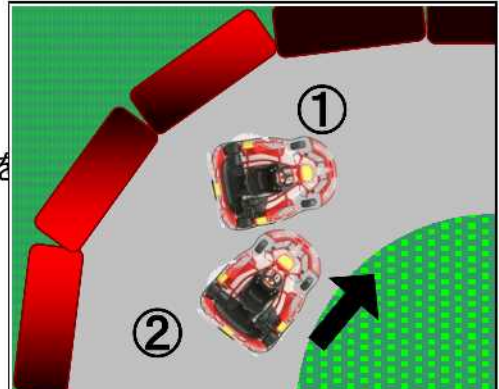
※ここに記載以外の行為も警告の対象となる場合があります。

【無理な追い越し】

2番のカートが十分な隙間がないのに1番のカーートのイン側に入っていく事は警告の対象となります。

警告の判断

- ★1番のカートと極端な速度差で接触して2番のカートが順位を上げたとき
- ★2番がイン側にスペースがない状態で1番のカートに接触して1番のカートが順位をおとした場合



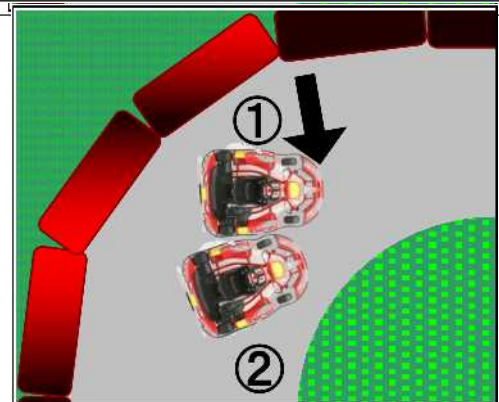
【無理なブロック 1(幅寄せ)】

1番が2番の進路を妨害するようにコーナー内側に進路を変更する事は警告の対象となります。

2番が1番の1/2より前にいた場合に判断

警告の判断

- ★1番が危険行為と判断された場合
- ★ブロックによる接触で2番が順位を落とした場合



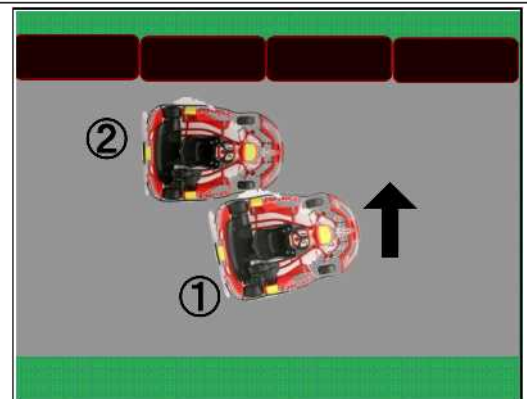
【無理なブロック 2(幅寄せ)】

1番がラインを変更して2番をクラッシュパットに追いやる事は警告の対象となります。

2番が1番の1/2より前にいた場合に判断

警告の判断

- ★1番が危険行為と判断された場合
- ★ブロックによる接触で2番が順位を落とした場合



【プッシング】

2番のフロントが1番のリアに接触する事は警告の対象となります。(速度差がある場合やブレーキを遅らせてのプッシングと判断した場合)

警告の判断

- ★2番が危険行為と判断された場合
- ★1番の走行ラインをずらして2番が順位を上げた場合。(プッシングで順位を上げた場合、同一周回到元の順位に戻ればOK)

